

北本市まちづくり市民ワークショップ報告資料

2025/02/06

目次

1. 開催概要	1
2. 第1回ワークショップについて	2
2-1 実施概要	2
2-2 結果のまとめ	3
3. 第2回ワークショップについて	5
3-1 実施概要	5
3-2 結果のまとめ	5
3-3 参加者アンケートの結果	10

1. 開催概要

第六次北本市総合振興計画の策定に向けて、市民の声を把握すること等を目的に、参加型・対話型の取り組みとしてワークショップ(全2回)を開催しました。

	第1回	第2回
日時	11月10日(日) 10:00-12:10	12月14日(土) 10:00-12:00
テーマ	・「市の魅力」の共有 ・北本市がどんなまちになるとよいか	・北本市でどんなことをしていけるとよいか(第1回で出た興味・関心に沿って検討)
対象	北本市に在住・在勤・在学の方 ※別途実施の市民アンケート、市の広報・ホームページを通して募集 ※一部の参加者を除き、各参加者は第1回・第2回ともに参加	
参加者数	27名	23名

2. 第1回ワークショップについて

2-1 実施概要

- テーマ:「市の魅力」の共有、北本市がどんなまちになるとよいか
- 参加者が思う「市の好きなところ・よいところ」を共有するゲームを実施
- 市民アンケート結果も踏まえながら、「北本市がどんなまちになるとよいか」を言語化・共有



それぞれが思う「市の好きなところ・よいところ」をゲーム形式で共有する様子



「北本市がどんなまちになるとよいか」について言葉にしながらか共有する様子



それぞれ話し合った内容を、班を超えて会場全体で共有する様子

2-2 結果のまとめ

「どんなまちになるとよいか」について出された意見を分類し、「テーマ」「キーワード」を設定しました。以下では、その6つのテーマに沿って、意見を記載しています。
※意見は原則として原文のまま(以下同様)。

● テーマ A

人と人がつながり出会うまち

キーワード: 交流、集える場、地域、異世代・異業種

意見(どんなまちになるとよいか)

地域の交流がある 住んでいる人の顔が見える(わかる)まち 人々(市民)が集える場所がある 隣市とも仲良いまち 無理なく助け合える関わるまち 地域の様々な関係者がつながる街	異世代との交流 人と人がつながれる 異業種が交流し新しい発見! 世代間をつなげる仕組みがある 世代間を越えて交流のできる居場所のある街 若い世代を増やす 若者が住みやすいまち
--	---

● テーマ B

自然とともにあるまち

キーワード: 自然、緑、農業、食育

意見(どんなまちになるとよいか)

自然を大切にしつつけるまち 自然を活かす 自然と共存 緑を維持して欲しい 公害のないきれいな街 人と自然両方にやさしいまち	自然の中で楽しめるキャンプ場 農作物を活用 自然栽培の維持 農業体験ができる 新鮮で美味しいものが食べられる 食育ができる
--	--

● テーマ C

楽しんで暮らせる魅力あるまち

キーワード: 店・マーケット、文化、イベント、魅力発信

意見(どんなまちになるとよいか)

活気があるまち お店・イベントなど マーケットのある町 アートが楽しめるまち 空家を活用できるまち 若い人が集う施設(大学、グラウンドなど) 年代関係なく楽しいまち まちに出かけたいと思うきっかけがあるまち 映画・本等文化を楽しめるスペース	駅前施設の増加 飲食店の活性化 商業施設の増加 素敵な個店が立ち並ぶまち 若い人々が集まる町(オシャレなお店) シンボルのある町 北本の魅力の発信
---	---

● テーマD

人にやさしい安心して暮らせるまち

キーワード: 福祉、助け合い、健康、防災・防犯、子ども・子育て

意見(どんなまちになるとよいか)

高齢者にやさしいまち 無理なく助け合える関わるまち 障害のある人もない人も住み良い街 認知症のある人も地域で暮らせる街 街ぐるみでの福祉	健康な人が多い町 災害に強い 防災意識の高いまち 災害のときに支え合える体制があること 安心して住めるまち 犯罪がない 安全
子育てしやすいまち(同様の意見多数) 子どもが遊ぶ場所 食育ができる 子どもに優しい町(公園を活かす)	多様性を受け容れる 高齢者、子ども、障がい者など 誰一人取り残されない街

● テーマE

誰もが活躍・チャレンジできるまち

キーワード: 仕事・キャリア、学び、誰にも役割がある

意見(どんなまちになるとよいか)

空家を活用できるまち 様々な人が活躍できる 高齢者が楽しめる(役割がある)まちづくり 学びができる(お金、健康、食育) 誰かの好き、チャレンジが尊重されるまち 大学の誘致	キャリアをつめるまち 市内で働ける場所が多く 企業誘致 働く場所が多い まちの中心に働く場がたくさんあるまち 後継をしっかりと残せる街
--	--

● テーマF

生活に便利な住みやすいまち

キーワード: 買い物、公共交通、道路、きれいなまち

意見(どんなまちになるとよいか)

生活しやすい (食品等)買い物に困らない体制づくり 買い物が便利 渋滞が少ない キレイな公園 街にゴミが落ちていない	交通網が整備されたまち 高崎線以外の交通手段 コミュニティバス等の充実 交通弱者も便利に暮らせる街 道路 市外からのアクセス向上
---	---

● そのほかの意見

ムダのないまち 他の地域に頼らないまち 地域資源が循環するまち 歩きたくなる(外に出たくなる)まち	ゆったり落ちつけるまち 縄文遺跡公園 余白を楽しむことができるまち 「育てる」楽しみがある
--	--

3. 第2回ワークショップについて

3-1 実施概要

- テーマ:北本市でどんなことをしていけるとよいか(第1回で出た興味・関心に沿って検討)
- 基調講演(演題:人口減少社会を生きる)を聞いた上で、どんなことに取り組んでいくべきか検討
- 出された取組のアイデアを会場全体で見て回り、「いいね」と思ったものにシールを貼って投票

3-2 結果のまとめ(北本市でどんなことをしていけるとよいか)

第1回の内容を踏まえ、6つのテーマに分かれて「北本市でどんなことをしていけるとよいか」を検討しました(各班1テーマ、計6班)。以下は、その内容です。

● テーマ A

人と人がつながり出会うまち

キーワード:交流、集える場、地域、異世代・異業種

「1つの自治体だけで考えないで、隣接自治体と一緒に考える」という意見に多くの賛同が集まったほか、地域の人材同士を結ぶしかけについて多くの意見が出されました。

意見(どんなことをしていけるとよいか)

食べることを大切にする(1)
自分が楽しめることをみつける
困り事を身近な人に相談できる(1)
自分のできることを知る(1)
関係者の得意なことを知る
まわりの人の特技を発見する(長所)
地域の活動を知る
地域の集まりに参加してみる
人とふれあう、交流する
交流できる空間をあちこちにつくる(2)
すてきな変人を集める(2)
この人ならこれができると紹介できる場を作る(3)
地域の仲間作り(2)
公園での運動の中で交流する(3)
学生が集まれるフィールド、場所を提案する(3)
何かをしたいという人が集まる場を作る(2)
世代をこえたつながり、ワークショップ(おみそ作り、おつけもの作り)(3)
市役所のスペースで販売をたくさんする(2)
同じ志をもつ方たちが集える場(2)
移住体験ができる(3)
1つの自治体だけで考えないで、隣接自治体と一緒に考える(9)
ハンディのある人が住みやすい地域をみざす
地域通貨を活用した交流

※ワークショップの最後に会場全体を回り、よいと思った意見には各自シールを貼りました。上表の各意見の末尾にある数字は、貼られたシールの枚数を示しています(0枚のものを除く)(以降同様)。

● テーマ B

自然とともにあるまち

キーワード: 自然、緑、農業、食育

ゴミ拾いを促す仕組みについての意見に多くの賛同が集まったほか、様々な角度で意見が出されました。

意見(どんなことをしていけるとよいか)

公園ゴミ拾いイベント!(6)
公園の整備(1)
ゴミ拾いボランティア(ポイント付き)(7)
公園遊具の清掃(2)
デーノタメ遺跡の活用(5)
北本に生きる動植物を案内する(めずらしいもの)(2)
楽しい公園 Map 作成(1)
イルミネーション(2)
各公園でのイベント(キッチンカーとか音楽とか)(2)
北本総合公園で音楽フェス(公園全体で)(3)
朝市などの PR と実施
特産物の PR(1)
食に関するイベント(4)
共同農作体験(3)
森林セラピーとキャンプ(2)
自然をテーマにしたイベント(2)
自然体験のイベント(4)

● テーマ C

楽しんで暮らせる魅力あるまち

キーワード: 店・マーケット、文化、イベント、魅力発信

「空家を起業家に無料貸出」という意見に多くの賛同が集まったほか、地域資源を活用したにぎわいづくりのアイデアが多く出されました。

意見(どんなことをしていけるとよいか)

ユーチューブ発信
子どもが体験 昔の遊び(2)
とまとまつり(2)
栄小でのマーケット(4)
トマトカレーフェス(4)
世代を超えたスポーツイベント(3)
駅前のキッチンカー等増加させる(3)
地域貢献のイベントが出来る(1)
空き店舗を活用する(2)
ふるさと納税品フェス(4)
空家を起業家に無料貸出(5)
北本バル等の増加(1)
市や民間企業が連携してイベント開催(1)
市役所内にマーケット担当部(2)

● テーマD

人にやさしい安心して暮らせるまち

キーワード: 福祉、助け合い、健康、防災・防犯、子ども・子育て

「外灯の適切な設置」という意見に多くの賛同が集まったほか、居場所づくりのアイデアが多く出されました。

意見(どんなことをしていけるとよいか)

子どもが多様な経験ができるイベントの開催(3)
イベント情報の発信の集約(子連れでアクセスしやすい)
あいさつのできるまち(月1強制)(2)
体験農園の充実支援(3)
NPOの充実・支援
外国人の交流の場の充実(4)
認知症のある方もない方も交流できる居場所の支援(2)
悩みを相談できるまち(何でも近所に言える)(3)
自治会の加入率UP(3)
福祉サポーターの養成(2)
避難行動の要支援者の個別避難計画の充実(1)
誰もがいつでも気軽に立ち寄れる居場所の設置の支援(5)
地域に集まれる場所を均等に造る(東側少ない?)(1)
近隣公園の設置
歩道の舗装(誰もが安心して歩ける・まちの印象)(1)
外灯の適切な設置(暗いところが多い?)(7)
防災無線の見なおし(1)
防犯カメラの設置の支援(4)

● テーマ E

誰もが活躍・チャレンジできるまち

キーワード: 仕事・キャリア、学び、誰にも役割がある

「子どもが働くことをイメージできる体験をするリアルインターン」や「起業を応援する取り組み」といった意見に多くの賛同が集まりました。

意見(どんなことをしていけるとよいか)

幅広い年齢層が参加できるお祭り(5)
キタガクの発展、生涯学習への参加(2)
サークルを立ち上げる(料理、スポーツ、映画、子育て、福祉)(1)
働く人が余かに好きなことを学べるオンライン講座(1)
清掃以外にイメージができない…←それ以外のボランティアの参加(2)
子どもが働くことをイメージできる体験をするリアルインターン(8)
働く人とのリスクリングの促進(1)
リタイヤ後に再就職しやすいフォロー(2)
トマトフェスティバル(トマトカレーほか近隣のトマトを使った名産品集める)(5)
市営のチョコザップ。(無料)か(安価)(1)
リモートワークできる環境をととのえる(1)
起業を応援する取り組み(7)
外資企業誘致、時給 UP(1)
環境を整える(公園、運動できる空間、施設利用、大会など)
講師のおまねき 「お金の使い方」「健康関係」「子どもと食育」
ハードが無理であれば大学生が集まれる環境(フィールド・場所)を準備する(1)
私立大学の誘致(1)
企業誘致、ウィンウィンの関係地元企業と(4)

● テーマF

生活に便利な住みやすいまち

キーワード: 買い物、公共交通、道路、きれいなまち

街灯等による明るさ確保についての意見に多くの賛同が集まったほか、公共交通や買い物環境の充実についての意見が多く出されました。

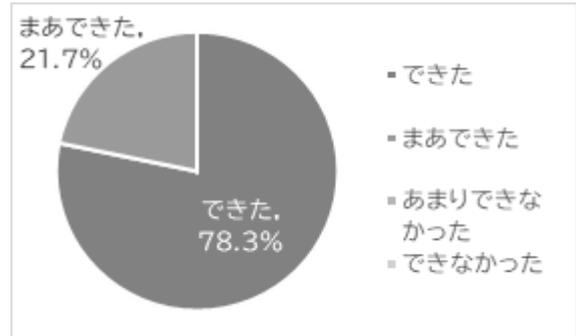
意見(どんなことをしていけるとよいか)

清掃
自治会の清掃活動を増やす
治安がいい(4)
毎日ゴミ出せる
交通事故0(1)
道路が広い(1)
(有償)ボランティアによる買物支援の一般化(3)
移動販売の増
公共バスの路線充実
タクシーの充実
公共タクシー
24時間買い物できる
移動スーパーの充実
コミュニティバス(高尾、石戸、石戸宿方面)
東松山方面、伊奈方面(鉄道とのアクセス)(1)
街が明るい(灯りなど)(7)
駅を増やす
建物を増やす(用途地域の見直し)
バスを増やす(4)
市外からの呼びこみ(通過点にならないよう)(1)

3-3 参加者アンケートの結果

Q. 全2回のワークショップを通して、十分に話し合うことができましたか。

- ・回答者 23 名中 18 名が「できた」、5名が「まあできた」と回答しました。
- ・「あまりできなかった」「できなかった」の回答はありませんでした。



Q. 参加しての感想や、言い残したこと、今後への希望など、ご自由にお書きください。

- ・様々な立場の人と話し合い、色々な視点での意見を共有できたこと、また話し合いの進め方や雰囲気よかったこと等について、意見が寄せられました。
- ・今後に向けては、意見を市政や計画に反映させていくことを求める意見が寄せられました。

〈回答を抜粋(原文のまま)〉

● よかった点についての回答

- ・テーマ毎に意見交換をし、様々な視点からの意見が新鮮だった。他のグループの意見も様々な内容があっ
ておもしろかった。
- ・様々な職種、年齢の方々と北本市について話し合うことができ、新たな発見、気づきがありました。イベ
ント等については、今はまだ空想であるが、実現できれば北本市の更なる発展になると感じました。
- ・赤川先生の講義が聞いて有意義だった。他の方の意見が聞いてよかった。
- ・工夫されたワークショップでよかったです。
- ・ふだんあまり接点のない世代や立場の方と意見を交わすことができ、楽しく参加できました。このワー
クショップで出た意見が総合計画に少しでも反映されることを願っています。
- ・自分の考えにはない斬新なアイデアがいっぱいあって参考になりました。
- ・参加者の皆様と想いを共有でき、非常に有意義な時間でした。自分自身も北本市への想いが一層深まり
ました。
- ・前向きな意見が多く、参加者の北本愛を感じました。
- ・今回、本当に自由に話し合うことができました。1つの1つのワードが形になっていくのは面白かったです。
- ・もっと難しいと思っていましたが、素直に意見を言いやすい場の雰囲気で良かったと思います。

● 今後に向けての回答

- ・ワークショップでの意見を参考に市政に取り組んでもらいたい。
- ・今回のワークショップに参加した人以外で年齢層幅広い形、特に未来を担う若い方が、参加した方が良
いと思いました。
- ・交流の場、集える場を求めている人が多いと感じた。ぜひ隣接自治体と一緒に、活気ある活動につな
がることを期待します。
- ・自分の意見にも共鳴して下さる方がいいねシールをもとに分かったので、その意見が計画に反映され
ていくと嬉しいと感じました。
- ・ワークショップを2回実施した結果を参加者にフィードバックして欲しいです。